



インタビュー



土居駅前通商店街振興組合
加度 伸悟 専務理事

知ってほしい守口市の いろいろ

皆さんは、守口市の商業・工業・農業の
いろいろなところを知っていますか。

**商店街というと、どこも
同じだとイメージする
のではないのでしょうか？**

市内には22か所ありますが、それぞれ特徴があるようです。

商店街の特徴や工夫していることに焦点をあて、紹介していきたいと思います。

特徴

**早速ですが、商店街の
特徴について
教えてください。**

商店街と言えば、魚屋・肉屋・豆腐屋・八百屋などを想像されると思いますが、土居駅前通商店街では27店舗あり、そのうち半数近くが医療関係です。

商店街の近所に住んでいる人に高齢者が増えてきたことで、それに対応するように医療関係が頑張っています。



土居駅前通商店街振興組合
久世 貴司 代表理事

物販店が非常に少ない商店街で、今の時代に対応した商店街と言えます。

アピールポイント

続いて、アピールポイントを教えてください。

高齢者が多いということで、健康をテーマに6年ほど

前から、市の友好都市である和歌山県かつらぎ町や高知県東洋町から、産地直送の米や野菜などを仕入れ、守口友好市場(アンテナショップ)で販売しています。

これからの商店街

**これからどのように工夫していこうと
考えていますか。**

これからは、物を売るだけでなく、地域のコミュニティの受け皿となることが大切であると考えています。なぜなら、商店街は地域と一体なので地域が元気にならないといけません。そのためには、サービスが必要であり、地域にどう貢献できるかが問われています。

具体的には、市民の安心安全のために、防犯カメラや街路灯(40本)をLED化することで夜間でも明るくしたり、コミュニティの場として、空き店舗をふれあい広場として開放したり貸したりもしております。

その他、まだできていませんが、高齢者の人のお宅への配達などですね。

最後に

物販店が非常に少ない商店街ですが、かつらぎ町や東洋町のアンテナショップとして新鮮な野菜や果物などを売っていますので、興味のある人は、ぜひ一度お立ち寄りください。

医療関係が多い商店街という事には少し驚きましたが、それをプラス面にとらえ、健康をテーマにアンテナショップにつなげるという知恵は、すばらしいと思いました。

市内には、まだまだこのような知恵を出し、頑張っている商店街がたくさんあると思います。他の商店街の参考に役立てたらと思います。



MORIGUCHI

製作されているものは？

まず、会社で製作しているものについて教えてください。

プラスチック製の機械部品で、食品加工機械部品・各種歯車類・特殊加工製品など極めて小さな部品から、神戸新交通ポートライナーの車輪に使うような大きな部品などです。さまざまな分野の先端エンジニアリング(自然法と社会的必要性という制限の中でのテクノロジーを創り出す)部品として役に立っています。

身近なもので言えば、コンビニエンスストアにある「おにぎり」を作る機械の部品も作っています。

経営方針

続いて、経営方針で、どのようなところに力を入れておられますか。

企業は常にプラスマイナスを考えます。景気の良い時代は仕事が忙しく、運営していただくだけでよかったですが、今では経営観念を持って売り上げなどいろいろな角度からシミュレーションを行い、人員や機械投資など戦略を立てています。

また、プラスチックの素材販売なども手がけていますので、市内の機械製造会社と協同で、中国で会社を設立し、事業展開も行っています。

そこで、第一に気をつけているのは、信用です。この会社に頼めば間違いないという信用を築き、守ることが一番大事なことだと考えています。

そのほか、地域の人たちと仲良くしていくことも重要です。迷惑がかからないように、操業時の騒音などにも気をつけています。

社員の育成について

社員の育成について気をつけている点や、どのような方法でされているのか教えてください。

育成についてはこれからです。今まではハード面(機械の整備)を行い、ようやく整備が整った状態になりました。

続いてソフト面(育成)ですが、内部の充実(給料・厚生面)を行うので、社員には「期待してくれ」とっています。



日本プラテック株式会社
高梨 憲春 社長

市内でこういった物が製作・販売・栽培されていて、どのような経営をされているのか、順番に紹介していきたいと思えます。

第1回目として今回は、土居駅前通商店街振興組合・加度伸悟専務理事、久世貴司代表理事と、市内で元気に経営されている日本プラテック株式会社・高梨憲春社長にいろいろお話を伺いました。

市内の人もたくさん働いておられますか？

人数の割合をいいますと、市内の人は2割くらいです。しかもパート・アルバイトさんがほとんどで、その他の社員は市外ですね。

技術の伝承方法

技術の伝承に苦労されていると思いますが、どうされていますか。

大きく分けて2種類の仕事があります。1つは、製品を作製する仕事。もう1つは、製品が正確に作られているか検査する仕事に分かれます。

どちらも実践で覚えていく以外にはありませんが、検査作業では、3次元測定器を導入し、効率化を図る予定です。

最後に

はじめにもお話しましたが、当社では精密な切削加工技術でさまざまな分野で使われる部品を製作しています。完成された品物は皆さんよくご存知ですが、使われている部品はご存知ない人が多いと思います。

市内には、他にもこういった会社がいくつも存在し、社会に役立っています。

今回のインタビューで、知らないことがまだまだあると実感しました。

最後に、おにぎりを見たら、日本プラテック株式会社を思い出していただけたらと思います。

